

令和7年度 学校評価 生徒集計

・実施日：令和7年12月
 ・集計数：44 1年次 13 2年次 12 3年次 19 （未実施 9）
 ・回答方法：4段階評価（4:十分 3:おおむね 2:不十分 1:まったく 空白:わからない）
 ・評価方法：4段階評価の数値を利用

昨年よりプラス評価の項目

1. 学校生活全般について

		十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R7 平均	R6 平均
(1) 挨拶や礼儀ができた	全員	23	19	2	0	10	3.48	3.24
(2) 正しい言葉遣いができた	全員	12	24	8	0	10	3.09	3.12
(3) 化粧や装飾品等をせず身だしなみを守ることができた	全員	32	10	2	0	10	3.68	3.65
(4) 正しい服装・頭髪で生活できた	全員	31	10	3	0	10	3.64	3.41
(5) 規則正しい生活習慣が身についた	全員	21	18	3	2	10	3.32	3.29
(6) クールビズの導入は効果的であった	全員	36	6	1	1	10	3.75	3.78
(7) 学校の物を大切にすることができた	全員	35	9	0	0	10	3.80	3.67
(8) 仲間と良好な関係を作ることができた	全員	25	13	3	3	10	3.36	3.24
(9) 学校のルールを守ることができた	全員	31	13	0	0	10	3.70	3.41
(10) 清掃活動に意欲的に参加した	全員	30	11	3	0	10	3.61	3.37
(11) 個人面談の時期及び回数は適切であった	全員	23	15	4	2	10	3.34	3.37
(12) 先生は自分の個性を認めて指導してくれていると感じる	全員	25	11	5	3	10	3.32	3.18
(13) 地域の方々に迷惑をかけずに行動できた	全員	28	14	1	1	10	3.57	3.61
(14) 普段から交通安全を意識した生活を送ることができた	全員	37	7	0	0	10	3.84	3.59

2. 学校活動について

		十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R7 平均	R6 平均
(1) 学校内においてそれぞれの役割を持ち活動ができた	全員	27	13	2	2	10	3.48	3.41
(2) 剣友会行事や農業クラブ行事に意欲的に参加することができた	全員	27	16	0	1	10	3.57	3.29
(3) 委員会活動に積極的に取り組むことができた	全員	26	10	4	4	10	3.32	3.20
(4) 行事を通してクラスの団結力を身につけることができた	全員	24	16	3	1	10	3.43	3.39
(5) 地域との交流を行うことができた	全員	23	17	2	2	10	3.39	3.16

3. 学習全般について

		十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R7 平均	R6 平均
(1) 目標を持って学習に取り組み、学習内容を身につけることができた	全員	22	18	3	1	10	3.39	3.14
(2) 基礎基本の学力向上に力を入れて取り組むことができた	全員	24	16	3	1	10	3.43	3.33
(3) 授業準備をしっかりと行い、正しい態度で授業にのぞめた	全員	22	20	2	0	10	3.45	3.24
(4) 緊張感を持って授業や講習・補習に取り組んだ	全員	26	14	4	0	10	3.50	3.31
(5) 必要に応じて先生が2人授業につくことは効果的であった	全員	25	15	1	3	10	3.41	3.22
(6) 資格取得への取り組みを積極的に行えた。	全員	18	19	4	3	10	3.18	3.06
(7) 様々な活動で図書室が有効に活用されていた	全員	12	19	8	5	10	2.86	2.92
(8) 視聴覚の機材が有効的に活用されている	全員	18	22	1	3	10	3.25	3.00
(9) コンピュータ室の使用方法を守ることができた	全員	30	13	1	0	10	3.66	3.47
(10) 剣高だよりを読んでいる	全員	10	18	7	9	10	2.66	2.47
(11) 学校HPを見たことがある	全員	27	10	4	3	10	3.39	2.94

4. 専門学習について

		十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R7 平均	R6 平均
(1) 課題を見つけて積極的に農業や福祉の学習活動に取り組んだ	全員	27	15	1	1	10	3.55	3.33
(2) 進路を見据えた学習を行うことができた	全員	24	15	3	2	10	3.39	3.33
(3) 安全に実習ができた	全員	33	10	0	1	10	3.70	3.69
(4) 授業ごとに農場施設や設備の整理整頓を行った	全員	28	12	4	0	10	3.55	3.24
(5) 命の尊さ、心のふれあいの大切さを学ぶことができた	全員	30	12	1	1	10	3.61	3.41
(6) 収穫等を通して農業の魅力がわかった	全員	24	15	1	4	10	3.34	3.18
(7) 実習生産物を大切にすることができた	全員	24	14	3	3	10	3.34	3.27
(8) 本校の農場で「癒し」を感じるところがあった	全員	22	12	5	5	10	3.16	2.92
(9) 実習を通して地域のことを学習できた	全員	30	12	1	1	10	3.61	3.35
(10) 地域交流・ボランティアに積極的に参加できた	全員	22	15	5	2	10	3.30	2.84
(11) 産業社会と人間の体験学習や2・3年次の委託実習は充実していた	全員	28	13	2	1	10	3.55	3.33
(12) 農業の授業を通して農業の基本が身についた	農業	16	6	1	1	30	3.54	3.24
(13) 生産・加工・流通の一連の流れが理解できた	農業	15	7	0	2	30	3.46	3.25
(14) 「食育」に関する学習活動に意欲的に取り組むことができた	農業	17	4	1	1	31	3.61	3.28
(15) 自分で課題を見つけ意欲的にプロジェクト活動に取り組めた	農業	13	8	1	1	31	3.43	3.17
(16) 草花を活用した環境づくりができた	農業	18	2	2	1	31	3.61	3.38
(17) アンテナショップを活用することができた	農業	14	5	2	2	31	3.35	2.93
(18) 農業に関する資格を取得することができた	農業	10	7	2	4	31	3.00	2.62
(19) 介護における基礎的な内容を理解することができた	福祉	9	6	2	1	36	3.28	3.50
(20) 実技を通して介護技術を身につけることができた	福祉	11	6	0	2	35	3.37	3.50
(21) 福祉の授業を通してコミュニケーション能力を高めることができた	福祉	10	6	0	3	35	3.21	3.29
(22) 福祉の授業を通して、自主的に行動できるようになった。	福祉	10	6	0	3	35	3.21	3.44
(23) 福祉の授業を通して思いやりの心を学んだ	福祉	13	4	1	1	35	3.53	3.63
(24) 心のふれあいの大切さを理解することができた	福祉	12	6	0	1	35	3.53	3.69
(25) 介護福祉士国家試験合格を目指して意欲的に学習に取り組んだ	福祉	11	5	0	3	35	3.26	3.31
(26) 介護職員初任者研修やガイドヘルパーの講習に積極的に参加した	福祉	12	4	0	3	35	3.32	3.43
(27) 基礎を理解して応用問題を解くことができた	福祉	11	6	0	2	35	3.37	3.36
(28) 介護福祉士を目指すための授業環境を整えることができた	福祉	10	6	0	3	35	3.21	3.36
(29) 模擬試験の実施は適切で効果的である	福祉	12	4	1	2	35	3.37	3.54
(30) 施設実習を通してコミュニケーション能力を高めることができた	福祉	13	4	1	1	35	3.53	3.56
(31) 施設実習を通して進路について考える機会となった	福祉	12	4	2	1	35	3.42	3.60
(32) 日誌の記録・記述方法を身につけることができた	福祉	12	4	2	1	35	3.42	3.40
(33) 宿題や小テスト実施による家庭学習習慣が定着した	福祉	10	4	3	2	35	3.16	3.29
(34) 国家試験に向けて計画的に学習に取り組んだ	福祉	10	4	2	3	35	3.11	3.23
(35) 視聴覚教材を活用していた	福祉	8	6	2	3	35	3.00	2.93
(36) 放課後講習は適切で効果的である	3年福祉	8	2	1	2	0	3.23	3.50
(37) 未来のしんろ系列の授業を通して探究的な学習の基礎が身についた	未来	6	1	2	1	44	3.20	3.38
(38) 課題設定、情報収集、実験・検証、まとめ・表現の一連の流れが理解できた	未来	5	2	1	2	44	3.00	3.38
(39) 各授業の探究型学習に意欲的に取り組むことが出来た	未来	6	1	1	2	44	3.10	3.38
(40) 自分やチームで課題を発見し、意欲的にプロジェクト学習に取り組めた	未来	6	1	1	3	43	2.91	3.50
(41) 各普通教科の授業に関して自分で課題を持ち、取り組むことができた	未来	6	1	1	2	44	3.10	3.13
(42) ものを作成したり、生き物を育てる学習活動でも、何の目的で製作・飼育などをしているかの理解が出来た	未来	7	1	1	1	44	3.40	3.25
(43) 各探究の学習と、各普通教科の授業が自分の進路とリンクしている実感がもて	未来	5	2	2	1	44	3.10	3.25

5. 進路について

- (1) 計画的に進路活動を行った。
- (2) 進学・就職説明会や体験入学などに積極的に参加できた。
- (3) 総合的な学習（探究）の時間を活用した進路活動が展開されている。
- (4) 個人面談が進路を考えるきっかけとなった。
- (5) 進路活動を通して、自分の適性や性格を知ることができた。
- (6) 進路に関する情報を得るために意欲的に活動した。
- (7) 進路に関する掲示物が充実している。
- (8) 「面接指導カード」を用いて面接練習を行ったことは効果的であった。
- (9) 多くの先生が面接指導に協力してくれた。

	十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R7 平均	R6 平均
3年	17	3	1	0	0	3.76	3.40
全員	23	14	6	1	10	3.34	3.08
全員	25	14	4	1	10	3.43	3.27
全員	22	14	4	4	10	3.23	2.82
全員	24	15	4	1	10	3.41	3.18
全員	25	14	4	1	10	3.43	3.31
全員	24	17	3	0	10	3.48	3.27
3年	13	5	2	2	0	3.32	3.21
3年	14	6	0	0	0	3.70	3.56

6. いじめ防止について

- (1) いじめに関するアンケート調査はいじめ防止に役立っている
- (2) 個別面談を通していじめ防止について考えることができた

	十分	おおむね	不十分	まったく	わからない	R7 平均	R6 平均
全員	20	11	6	2	15	3.26	3.16
全員	25	10	1	3	15	3.46	3.20

令和7年度 学校評価 保護者集計

実施期間：令和7年12月～令和7年1月 冬休み期間中
 対象：全年次保護者 回答：10世帯 回収率：18.9%
 回答方法：4段階評価（4：十分 3：おおむね 2：不十分 1：まったく 空白：わからない）
 評価方法：4段階評価の数値を利用

昨年よりプラス評価の項目

1. お子様の学習について

- (1) 学習内容が身についている
- (2) 家庭学習の習慣が身についている
- (3) 自分の進路に関して計画的に目標を持って取り組んでいる

十分	おおむね	不十分	まったく	わからない 未回答	R7 平均	R6 平均
0	8	2	0	0	2.8	3.2
0	4	5	0	1	2.4	2.6
3	3	4	0	0	2.9	3.1

2. 本校の取り組みについて

- (1) 基礎基本の学力向上に力を入れている
- (2) 生徒への学習支援がなされている
- (3) 剣高だよりやホームページは学校活動を理解するのに有効である
- (4) 先生方は細やかな生活指導を行っている
- (5) 学校と家庭との連携が効果的になされている
- (6) 農業・福祉の専門教育が充実しており、子ども達の将来にとってとても有意義である
- (7) 委託実習は有意義である
- (8) 資格取得に関する指導が充実している
- (9) 学校行事などで、地域連携が盛んに行われ、それが教育活動により結果を与えている
- (10) 剣友会（生徒会・農業クラブ）活動が盛んである
- (11) 各部活動が意欲的に行われている
- (12) 職業説明会や講演会など1年次生から系統立てた進路指導が展開されている
- (13) 進路に関する情報の提供など進路指導が充実している
- (14) 学校の施設設備が適切に活用されている
- (15) 学校のいじめ防止に対する取り組みは適切に行われている
- (16) 創明寮の運営は適切に行われている（創明寮入寮者保護者のみ）
- (17) お子様を剣淵高校に入学させて良かったと思っている

十分	おおむね	不十分	まったく	わからない 未回答	R7 平均	R6 平均
1	5	3	0	1	2.8	3.3
3	4	2	0	1	3.1	3.2
3	3	3	1	0	2.8	3.0
4	1	4	1	0	2.8	3.5
3	2	5	0	0	2.8	3.1
5	4	1	0	0	3.4	3.5
5	3	1	0	1	3.4	3.5
3	4	2	0	1	3.1	3.2
2	5	2	0	1	3.0	3.5
3	4	1	0	2	3.3	3.1
3	5	1	0	1	3.2	3.1
3	4	1	0	2	3.3	3.2
3	4	2	0	1	3.1	3.2
2	5	1	0	2	3.1	3.2
2	2	2	2	2	2.5	3.1
3	2	1	0	4	3.3	4.0
4	2	3	0	1	3.1	

令和7年度 学校評価 教職員集計

昨年よりプラス評価の項目

評価目標	評価項目	R7	R6	各評価項目についての意見
教育目標	1 自ら学ぶ意欲を育み積極的に行動する力を育てることができていたか	2.8	3.0	
	2 責任感を養い、互いに助け合う心を育てることができていたか	2.8	2.8	
	3 心身を鍛え明るく豊かな人間性を育てることができていたか	2.8	3.0	
	4 勤労を尊び、郷土の発展につくす態度を育てることができていたか	2.8	2.8	
	5 教育目標が各分掌の目標の基になり実践することができていたか	3.2	3.2	
教務	1 各教科・科目を中心とした「わかる授業」による学習意欲・基礎学力向上の促進ができていたか	2.5	3.4	
	2 授業規律の確立と学習習慣の定着ができていたか	2.0	2.8	
	3 シラバスを用いて系列選択・科目選択等への活用ができていたか	2.5	3.4	
	4 各観点を意識した評価問題を作成したか	3.5	3.2	
	5 各年次・分掌・教科との連携による時間割の弾力的な運用ができていたか	3.5	3.4	
	6 授業時数を確保した上で、週ごとの時間割作成において、教員一人あたりの週当たりのコマ数の均衡は保たれていたか。	3.0	2.8	
	7 資格取得状況と部活動大会結果の管理はできていたか	3.0	3.0	
	8 校内研修の精選と実態に即した研修テーマの検討ができていたか	3.5	3.0	
	9 公開授業の実施及び合評会は活性化していたか	2.0	2.4	
	10 会議・研修へ参加した際の資料の回覧・報告はできていたか	2.5	3.0	
	11 図書環境の整備と読書の推進はできていたか	3.0	2.8	
	12 委員会活動と連携した図書館の利用推進はできていたか	3.5	2.6	
	13 視聴覚機器の整備と更新はできていたか	3.0	2.8	
	14 情報処理機器の整備と管理はできていたか	2.5	3.2	
	15 情報機器のソフトウェアの検討はできていたか	3.0		
	16 剣高だよりの作成と地域への定期的な情報発信の継続ができていたか	3.0	3.0	
	17 中学校及び保護者に対するの学校理解の促進と入学者の確保ができていたか	2.5	3.6	地域みらい留学では2名希望者を確保できたが、道内での近隣での生徒獲得に課題を感じている。
	18 HP・ブログ内容の精選と定期的な更新ができていたか	3.0	3.0	

生徒指導	1	教員の共通理解のもとで学校生活の規律を指導することができていたか	3.0	3.0	
	2	校外生活における規律遵守の指導を行っていたか	3.0	2.5	
	3	指導対象者の指導を計画的に行っていたか	3.0	2.5	
	4	多様な価値観を認めて行動できる生徒の育成ができていたか	3.0	3.5	
	5	教育相談、個別面談は充実していたか	3.0	3.0	
	6	PTA活動、地域交流を通じた生徒指導の充実化を図っていたか	3.0	2.8	
	7	関係諸機関と連携した生徒指導の充実がはかられていたか	3.0	3.0	
進路指導	1	進路行事等の企画・実施と各関係機関との連携ができていたか	4.0	3.3	
	2	進学説明会・就職促進会等への参加促進と効果的な事後指導の実施ができていたか	3.3	3.5	
	3	進路に関する資料の提示を通して進路意識の高揚をはかっていたか	3.3	3.0	
	4	削除			
	5	進路を見据えた系列選択の指導及び効果的な進路指導の実施ができていたか。	3.0	2.8	
	6	担任と連携した進路指導の展開ができたか。	3.6	3.3	
	7	生徒情報の共有化ができていたか	3.3	3.3	
	8	生徒が進路を見据え、目標を持った学校生活を送るための支援ができていたか。	3.3	3.3	
	9	個々に応じた基礎学力に向け、教科担との連携や模試の実施を行ったか	2.6	2.8	
	10	卒業生の状況確認と効果的な進路指導の実施が出来ていたか。	3.0	3.0	

農 場 部	1	新教育課程実施年度にあたり、新しく導入された科目の研修を深め、特色ある農業教育の推進に努めていたか	3.0	
	2	科目間・部門間の連携の充実を図り、フードシステムの確立に努めていたか	3.0	
	3	日本農業技術検定3級合格100%を目指し、各科目内での継続した学習指導を実施できていたか	3.0	
	4	専門学習・委託実習を通して、農業経営者及び関連する産業者としての知識・技術の向上に努めていたか	3.0	
	5	計画的な事前指導、事後指導を実施し、充実した実習となるよう努めていたか	3.0	
	6	実習先との連携・情報共有を図り、円滑な実習展開に努めていたか	3.0	
	7	プロジェクト計画段階から、発表時の分野を意識した取り組みを行い、記録の充実を図っていたか	3.0	
	8	大学・関係機関などとの連携を積極的に行い、地域に根ざした専門学習となるよう充実を図っていたか	3.0	
	9	各分会での活動状況の共有を図り、全体が充実した活動になるように努めていたか	3.0	
	10	水稲部門では、特別栽培を継続し、付加価値を高める栽培方法を実践できていたか	3.0	
	11	畑作では、新たな作物を導入し、地域で栽培可能かを検討できたか	3.0	
	12	野菜部門では、安定生産を努めるとともに、冬期間中の栽培を実践できたか	3.0	
	13	加工部門では、定期的な製造に努め、新たな商品の開発を模索できたか	3.0	
	14	草花部門では、環境負荷低減の取り組みを継続しながら、地域環境作りに貢献できる花作りを行えたか	3.0	
	15	定期的に販売会を実施するとともに、地域のイベントに積極的に参加し、販売実習の機会確保と生産物収入の増加（目標450万円）を達成できたか	3.0	
	16	農場内の環境整備・整理整頓に努めるとともに、掲示教育にも力を入れ、開かれた学校農場となっていたか	3.0	
	17	実習における安全には十分に配慮し、事故が起らないよう指導に努めることができていたか	3.0	
	18	地域の先進農家を手本とした、担い手育成・営農学習指導の実践に努めることができたか	3.0	
	19	地域の販売会などに積極的に参加し、地域に開かれた学校の推進に努めることができたか	3.0	
	20	農業を活用したヒューマンサービスについての実践力を育て、地域社会の発展に努めることができたか	3.0	

福祉部	1	自己理解を深め、介護福祉士に必要な円滑な対人関係を図るためコミュニケーション能力を育てることができたか	3.0	2.6	
	2	地域や社会のニーズに対応した社会福祉制度の基本的な理解の定着を図ることができていたか	2.7	2.8	
	3	利用者の尊厳、自立支援を重視した介護の実践力と必要な専門知識の習得をはかれたか	3.0	2.8	
	4	対外活動や地域交流への積極的な参加を促し、自ら学び、行動できる態度を育てることができたか	2.5	3.0	
	5	資格取得のために必要な介護技術の向上を図れたか	2.3	3.0	
	6	基本的介護理論を理解し、個に対応した実践的な能力を育てることができたか	2.3	3.0	
	7	新しい時代に対応した介護技術の習得を図れたか	2.7		
	8	実習先との連携・情報共有を図り、実習内容の充実を図ることができたか	2.5	3.0	
	9	社会生活に必要なマナーを学び、将来の職業観を養うことができたか	2.7	2.8	
	10	介護福祉士国家試験合格に向けて、意欲的に取り組ませることができたか	2.7	2.8	
	11	福祉教科の情報共有、福祉教育や授業内容の検討を行うことができたか	2.7	2.8	
	12	介護福祉士養成施設（福祉系高校）として適正な運営を行う	3.0		
未来のしんる部	1	行事や業務の見直し・刷新を行い、持続可能な業務量への調整や改善を図ることができたか。	2.3		
	2	部会やGoogle Chat、共有フォルダ等を活用し、指導法・教材・ノウハウの「共有・可視化・継承」に向けて取り組むことができたか。	2.6		
	3	生徒の「基礎学力向上」や「学習習慣の定着」に向けた具体的な動機付けができたか。	2.6		
	4	進路目標からの逆算を持たせる指導を行い、生徒が主体的に進路決定できるような支援（面談・情報提供）ができたか。	2.6		
	5	インターンシップや実習、地域連携活動において、生徒のニーズに合った開拓、および事後指導（礼状・報告・振り返り）の仕組みは機能したか。	3.3		
	6	探究活動（絵本、飼育・実験、SDGs等）において、生徒の「主体性」を引き出すことができたか。	3.3		
	7	外部講師や地域（役場・企業）との連携授業において、生徒の視野を広げる効果的なプログラムを構成できたか。	3.0		
	8	インスタグラムや学校通信等を活用し、生徒の活動や成果を、保護者や地域へ「タイムリーかつ魅力的」に発信できたか。	3.6		
	9	生徒の多様な価値観を認め合い、協働性を育むような環境づくり（グループワーク、他校交流、発表の場など）を提供できたか。	3.6		
	10	全体を通してどうだったか。R8年度に向けて、特に改善・変更すべき点、または継続して強化すべき点があれば記述してください。（見直すべき行事、新たに導入したいツール、人員配置の要望など）	3.0		<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上のため、家庭学習向けに申し込んでもらった教材ツールをどう活かすか、動機付けを行う時間をどう確保するのが課題。 ・マンパワーに頼っている部分があり申し訳ないです

寮務部	1	日課表に基づいた規則正しい生活習慣の確立を促すことができたか	3.0	2.8	
	2	寮長・副寮長を中心とした寮運営ができたか。	2.8	3.2	寮長会議を開くことがなかったが、その都度、寮長・副寮長と確認しながら寮の運営を進めてきた。
	3	諸手続きに責任と自覚を持たせることができたか	3.0	3.2	
	4	寮内での事故・事件を未然に防ぐことができたか。	2.8		
	5	生徒の相談の実施や定型的な面談を実施できたか。	2.3	2.8	一斉面談など固定で行うことはなかった。舎監に入られた方々に生徒の相談にのっていただいた。
	6	定期的な寮行事を計画し、自主的に運営ができたかどうか	2.8		レクなど寮生が作り上げることを意識して、業務に携わった。
	7	寮生の情報を教員間で共有することができていたか。	3.3	3.2	
	8	居室のこまめな点検、寮の設備や整理整頓の徹底を図り、安らぎの場を確保することができたか。	2.8	2.8	
	9	食事委託業者との打合せで食事内容の改善、消耗品・備品の補充等を適切に行うことができていたか	3.5	3.3	
	10	避難訓練等を通して、非常時の心構えを養い、日頃からの安全な寮生活の確保に努めることができたか	3.5		
	11	担任との情報共有、保護者との連携ができたか	3.5	3.3	
	12	定期的なブログの発信や保護者連絡用のチャットの活用ができたかどうか。	2.5	2.6	
	13	舎監業務の見直しを図り、教職員の負担軽減を図ることができたかどうか	3.5		極力、勤務時間にかからないよう、業務を計画した。
剣友会	1	年次や部活動の集団活動を通して、自己実現に向かって人生を切り拓く力を身につけることができたか	2.5	3.2	
	2	各種大会等への「挑戦する心」を育て、互いに協力することから、生徒に達成感を体験させることができたか	3.5	3.0	
	3	農業クラブ活動を通し、クラブ員個々に問題解決能力を身につけさせることができたか	2.5	3.0	
	4	活動を通して、所属感や連帯感を高め、生徒一人ひとりが個性に応じた役割を見つけてさせることができたか	2.0	3.0	
	5	三大農ク行事の指導を充実させ、年次間のつながりを通して、自己表現力やコミュニケーション能力を高めさせることができたか	2.5	3.0	
	6	外部との交流、連携を通して他者理解に努め、望ましい人間関係の形成に努めることができたか	3.0	3.0	
	7	学校行事の計画や運営に参加させることで、生徒の自主性を養い、生徒相互の連帯感を高めさせることができたか	3.5	3.0	
	8	各行事の目的を達成するため事前指導を充実させ、士気の向上を図ることができたか	3.0	3.0	
	9	専門委員会の活動内容を精選し、充実した取り組みを実践することができたか	1.5	3.0	
	10	部活動を活性化し、加入率をあげることができた	2.5	2.0	
	11	剣友会予算の適正な執行により環境を整備することができた	2.0	2.3	

保健安全	1	健康診断前後の措置が円滑に行われているか	2.5	3.3	
	2	救急体制が確立されているか	3.0	3.0	
	3	校舎内外は清潔に保たれているか	3.0	3.5	
	4	体育的行事の際の健康チェック等安全確保に配慮があるか	2.5	3.3	
学級年次経営	1	生徒同士、教師生徒間など円滑な学級・年次運営が行われているか	3.0	3.2	
	2	生徒についての情報が適切に共有されているか	3.0	2.8	
	3	HR運営について全教職員の共通理解のもと協力体制ができてきているか	2.7	2.6	
家庭地域との連携	1	目的が会員に理解され活発に活動がなされ、保護者、教職員が意欲的に参加されているか	3.0	3.0	
	2	協力体制は良好だったか	3.0	3.0	
	3	地域行事に積極的に参加しているか	3.5	3.3	
	4	学校と地域や関係機関との連携がうまく図られているか	3.5	3.3	
いじめ対策	1	いじめの予防 学業指導の充実	3.0	3.2	
	2	いじめの予防 特別活動、道徳教育の充実	3.0	3.3	
	3	いじめの予防 教育相談の充実	3.3	3.0	
	4	いじめの予防 人権教育の充実	3.3	3.3	
	5	いじめの予防 情報教育の充実	3.0	3.0	
	6	いじめの予防 保護者・地域との連携	3.3	3.2	
	7	いじめの予防 居場所づくり、絆づくり	3.3	3.0	
	8	いじめの早期発見 いじめ発見	2.8	3.2	
	9	いじめの早期発見 「いじめられている生徒」と「いじている生徒」のサインの察知	2.8	3.0	
	10	いじめの早期発見 相談体制の整備	3.3	3.2	
	11	いじめの早期発見 定期的調査の実施	3.0	3.2	
	12	いじめの早期発見 情報共有、対応策の策定	3.3	3.2	
	13	いじめへの対応 「いじめられている生徒」への対応	3.0	3.2	
	14	いじめへの対応 「いじている生徒」への対応	2.8	3.2	
	15	いじめへの対応 関係集団への対応	3.0	3.2	
	16	いじめへの対応 「いじめられている生徒」の保護者に対して	3.0	3.2	

実施期間：令和7年12月16日（火）～12月24日（水）
 配布対象：学校運営協議会委員 10名
 回答方法：4段階評価
 （4：十分 3：おおむね 2：不十分 1：まったく 空白：わからない）
 最も多い回答は濃い網掛けとなっている

1 学校教育目標について

4 3 2 1 無回答 平均

以下の本校教育目標が生徒の実態や保護者、地域の願いを踏まえたものとなっていると思いますか。

5	0	0	0	0	4.00
---	---	---	---	---	------

- 1 自ら学ぶ意欲を育み積極的に行動する力を育てる
- 2 責任感を養い、互いに助け合う心を育てる
- 3 心身を鍛え明るく豊かな人間性を育てる
- 4 勤労を尊び、郷土の発展につくす態度を育てる

2 本校の取り組みについて

4 3 2 1 無回答 平均

	4	3	2	1	無回答	平均
(1) 総合学科として多様な教育課程・授業が準備されている。	4	1	0	0	0	3.80
(2) 農業、福祉の専門教育が充実しており、子ども達の将来にとってとても有意義である	3	2	0	0	0	3.60
(3) 学校行事などで、地域連携が盛んに行われ、それが教育活動により結果を与えている	3	2	0	0	0	3.60
(4) 生徒会・農業クラブ活動が盛んであり、生徒が主体的に取り組んでいる	5	0	0	0	0	4.00
(5) 交通安全指導、性に関する教室、薬物乱用防止教室等保健安全指導が適切に行われている	4	1	0	0	0	3.80
(6) 部活動は充実している	1	2	2	0	0	2.80
(7) 資格取得に関する指導が充実している	4	1	0	0	0	3.80
(8) 2年次生、3年次生での委託実習は有意義である	5	0	0	0	0	4.00
(9) 先生方は一人ひとりに対応した細やかな生活指導を行っている	3	2	0	0	0	3.60
(10) 学校と家庭との連携が十分に効果的になされている	3	2	0	0	0	3.60
(11) 「剣高だより」やホームページは学校活動を理解するのに有効である	2	2	0	0	1	3.50
(12) 授業評価を通して、授業での教え方の工夫や授業改善が行われている。	2	3	0	0	0	3.40
(13) 学校の施設設備が充実している	0	5	0	0	0	3.00
(14) 職業説明会や講演会など1年次生から系統立てた進路指導が展開されている	3	2	0	0	0	3.60
(15) 基礎基本の学力向上に力を入れている	3	2	0	0	0	3.60
(16) 進路に関する情報の提供など進路指導が充実している	4	1	0	0	0	3.80

3 記述欄

(1) **学校は人の生き方について考えたり豊かな心を育んだりしていると思いますか。**

・学校は大人になるための基礎だと思うのでそう思います。
・思う。
・思う。更に社会に出るための心構えの教育が出来ると尚更良いと思う。
・生徒に問題があった時の、学校の対応が素早く、生徒個人個人に合った指導や対応が的確にされていると思います。
・思います。

(2) **生徒募集について、ご意見をお聞かせください**

・PRについてよくできていると思います。
・生徒数が今後さらに減少して行く現状の中、地域とさらに密着し、剣淵ならではの魅力を発信していけるといいですね。
・道外募集を始めるにあたり、地域連携(スポット)を取れると更にやれる幅が広がると思う。
・卒業後の就職(進学も含む)率100%は素晴らしいと思います。社会に出てすぐに戦力になれる指導をされている事も前面に出してはいかがでしょうか？

(3) **その他、ご意見・ご感想がありましたら、お書き下さい。**

・外部講師をどんどん起用すると更に良くなると思う。
・外から見ての立場ですので、1~4に当てはまっているか、自信はありません。関わらせていただいた時の教職員の皆さまの頑張りは素晴らしいものだと思ってます。
働き方改革とは真逆の頑張りでしょうが、少しでも良き対応をしていただけるよう、色々な所で働きかけていきます。